

平成 30 年度サービス第三者評価結果（公益社団法人 全国有料老人ホーム協会）

法人名	社会福祉法人聖隷福祉事業団	ホーム名	浦安エデンの園	ID	3024
	評価機関	株式会社 ケアシステムズ		評価日	2018/11/8

スケールNo.	自己評価	機関評価	スケールNo.	自己評価	機関評価	スケールNo.	自己評価	機関評価
1.1.1	A	A	2.3.3	A	A	6.1.2	A	A
1.1.2	A	A	2.3.4	A	A	6.1.3	A	A
1.1.3	A	A	2.3.5	A	A	6.2.1	A	A
1.1.4	A	A	2.3.6	A	A	6.2.2	A	A
1.2.1	A	A	2.3.7	A	A	6.2.3	A	A
1.2.2	A	A	2.3.8	非	A	6.2.4	非	非
1.2.3	A	A	2.3.9	A	A	6.2.5	A	A
1.3.1	A	A	2.3.10	A	A	6.2.6	A	A
1.3.2	A	A	2.3.11	A	A	6.2.7	A	A
1.3.3	A	A	2.4.1	A	A	6.2.8	A	A
1.4.1	A	A	2.4.2	A	A	6.2.9	A	A
1.4.2	A	A	2.4.3	A	A	6.3.1	A	A
1.4.3	A	A	2.4.4	A	A	6.3.2	A	A
1.4.4	A	A	2.4.5	A	A	6.3.3	C	C
1.4.5	A	A	2.4.6	A	A	7.1.1	A	A
1.4.6	A	A	3.1.1	A	A	7.1.2	A	A
1.4.7	A	A	3.1.2	A	A	7.2.1	A	A
1.4.8	A	A	3.1.3	A	A	7.3.1	A	A
1.5.1	A	A	3.1.4	A	A	7.3.2	A	A
1.5.2	A	A	3.1.5	A	A	7.3.3	A	A
1.5.3	A	A	3.1.6	A	A	7.3.4	A	A
2.1.1	A	A	3.1.7	A	A	7.4.1	A	A
2.1.2	A	A	4.1.1	A	A	7.4.2	A	A
2.2.1	A	A	4.1.2	A	A	7.4.3	A	A
2.2.2	A	A	4.1.3	A	A	7.4.4	A	A
2.2.3	A	A	4.1.4	A	A	7.4.5	A	A
2.2.4	A	A	4.2.1	A	A	7.5.1	A	A
2.2.5	A	A	4.2.2	A	A	7.5.2	A	A
2.2.6	A	A	5.1.1	A	A	7.5.3	A	A
2.2.7	A	A	5.1.2	A	A	7.5.4	A	A
2.2.8	A	A	5.2.1	A	A	7.5.5	A	A
2.2.9	A	A	5.2.2	A	A	7.5.6	A	A
2.2.10	A	A	5.2.3	A	A	7.5.7	A	A
2.2.11	A	A	5.2.4	A	A	7.6.1	A	A
2.3.1	A	A	5.2.5	A	A	7.6.2	A	A
2.3.2	A	A	6.1.1	A	A	7.6.3	A	A

評価機関所見

◆優れた取り組みと思われる点	
スケールNo.	所 見
4.2.2	施設では入居者主体で多くのサークル活動が行われており、カラオケや麻雀、囲碁将棋、お茶、ビリヤードなどを楽しんでいる。また、施設全体のアクティビティ計画を作成しており、外出、コンサート、謡曲、ランチを楽しむなどバラエティに富んだ企画を実施している。さらに今年度は、1か月をかけて職員が入居者一人ひとりの居室を訪問して直接希望を聞き取り「願い事リスト」を作成した。同じような希望を出した人は数人で集まって図書館や買い物に出かけるとともに、「昔住んでいた場所を訪ねてみたい」「お墓参りに行きたい」などの意向に個別に対応した。また、閉じこもりがちな人についてはリストにして、ゲームや体操に積極的に声かけをして参加を促したり、一日中ベッド上で過ごすことがないように食事の時には食堂まで誘導したり、日々のアクティビティへの声かけをするなどの取り組みをしている。
5.1.1	施設では毎日3食とも選択メニューを実施しており、朝はご飯かパン、昼は2種類のランチ、夜は主菜を肉か魚から選択することができる。年1回の嗜好調査の他、レストランのテーブルには意見を書ける用紙を置いて、入居者や職員が書いて出せるようにしており、レストランの入り口に意見と対応策が掲示されている。これらの意見は人気メニューやリクエストメニューの提供につながっているほか、毎月一人の調理員がメニュー決め、食材発注、盛り付けまで責任を持って提供する「味散歩」、クリスマスなどの行事食など、施設での毎日の食事が楽しみになるような取り組みが行われている。
2.3.4	多様な方法で入居者の意向の把握に努めており、全体会（入居者参加の会）、運営懇談会などで聞き取っている。相談日も設定しており、園長や副園長、ケアサービス責任者、栄養士などが要望を聞いたり相談を受けたりしている。そのほか、定期的に食事の満足度調査も実施しており献立などに反映させている。さまざまな方法で入居者の希望や満足度の把握に努め、改善に結び付けている。
1.4.8	入居者の募集は専任の担当者を置いて取り組んでいる。市内で発行しているタブロイド紙に広告を掲載したり、年2回折り込みチラシを市内や近県に配布したりしている。また、イベントが行われる際には折り込み広告を作り配布するなどの工夫もされている。入居希望があった際には個別の相談にも丁寧に対応しながら入居に繋げるように努めている。待機中の入居希望者も多くいることから、成果が出ていることが伺える。

◆さらに取り組むことで、より質の向上が可能と考えられる点	
スケールNo.	所 見
1.4.5	施設では人材確保と離職の防止について課題としている。人材確保については法人を挙げて取り組んでいることから、継続した取り組みが期待される。また、職員の就業状況を把握して個別に相談に乗るなど、働きやすい環境整備に努めている。職員一人ひとりが主体的に活動できる場をさらに整備するとともに、業務を通じた自己実現の支援など、持てる力を発揮できるような体制づくりに期待したい。
2.4.3	さまざまなリスクに対しマニュアルを整備したり対策を講じたりしている。災害対策として地震や火災、風水害を想定し毎月避難訓練などを実施しており、介護部門では夜間想定訓練も行われている。感染症対策としては予防に特に力を入れ、シーズンには手洗いうがいの励行やマスクの着用など、入居者や職員に啓もうしている。事故については報告書に記録し再発防止策を纏めている。ヒヤリハットを数多く収集することや、事故の再発防止策はモニタリングを行い検証するとさらによいと思われる。
6.3.1	業務マニュアル及び研修計画が整備されている。マニュアルについては現在見直している部分もあるが、時期を定めて定期的に見直すまでには至っておらず、実態とのずれが生じている部分のあることが懸念される。マニュアルなどは定期的に見直すとともに、職員が分からないことがあった時に気軽に確認できるものになるとさらによいと思われる。